

主要経済指標等 (2012年)

- 人口 ..... 630万人
- GNI 総額 ..... 229.32億ドル
- GNI 一人あたり ..... 3,600ドル
- 経済成長率 ..... 1.9%
- 失業率 ..... 6.9%
- 対外債務残高 ..... 132.79億ドル
- 援助受取総額 (支出純額) ..... 2.30億ドル
- DAC分類 ..... 低中所得国
- 世界銀行分類 ..... iii/低中所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対エルサルバドル援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2009 年度	-	3.55	11.49(11.36)
2010 年度	-	17.29	10.51(10.46)
2011 年度	-	2.35	12.98(12.65)
2012 年度	-	12.83	8.07(7.79)
2013 年度	-	2.45	8.71
累 計	448.77	359.72	222.91(220.84)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標 1: 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	17.1%(1991)	9.0%(2009)
●目標 2: 初等教育における純就学率	75.6%(1998)	95.8%(2011)
●目標 3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数)	0.99人(1991)	0.95人(2011)
●目標 4: 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	59.1人(1990)	15.9人(2012)
●目標 5: 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり)	150人(1990)	81人(2010)
●目標 6: 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	-	0.07%(2011)
●目標 7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	74.2%(1990)	89.7%(2011)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

エルサルバドルに対する我が国ODA概要

1. 概要

エルサルバドルに対する我が国の経済協力は、中南米では初となる 1968 年の青年海外協力隊 (JOCV) 派遣趣極の署名に始まる。1974 年から有償資金協力も実施していたが、左右両派の対立が内戦にまで発展したことから、1979 年に JOCV の派遣を中断した。1982 年から小規模の無償資金協力を開始し、1992 年の和平合意による内戦終結を機に復興支援を始めとする本格的な援助を再開した。

2. 意義

中米地域の統合・連携強化に取り組んでいる中米統合機構 (SICA) の本部があるエルサルバドルは、地域市場統合を積極的に推進し、中米統合において中心的な役割を果たしている。同国に対する支援は、良好な二国間関係の構築にとどまらず、中米地域との関係の発展につながり、さらには、地域統合の進展を通じ中米全体の安定と平和の促進にも資する。

3. 基本方針

エルサルバドル政府が取り組んでいる重要開発課題のうち、我が国は、同国の自立的・持続的な開発を促進するため、経済の活性化と雇用拡大を中核として支援を行うとともに、環境保全に対する同国の取組への支援にも努めることを基本方針とする。

4. 重点分野

- (1) 経済の活性化と雇用拡大への支援: 過去に我が国が支援した空港、港湾、橋などの機能を最大限発揮するための支援や人材育成を行う。また、地場産業振興や、農業製品の国内販売の促進に向けた支援を行うことで、地域産業の確立や雇用の創出を図る。
- (2) 持続的開発のための防災・環境保全への支援: 防災教育を中心とした「コミュニティ防災」と同国防災担部門間の「組織連携」の両視点に立ち、我が国の知見を活かした防災能力の強化に向けた協力を行う。また、気候変動対策など環境保全に向けた取組を支援する。

※注) 1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2009年~2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。  
( )内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

# エルサルバドル

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細 (表-1 の詳細)

(単位：億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011 年度	なし	2.35 億円 ・草の根文化無償(2 件) (0.15) ・草の根・人間の安全保障無償(21 件) (2.20)	・公共インフラ強化のための気候変動・リスク管理戦略局支援プロジェクト [12.01~15.01]
2012 年度	なし	12.83 億円 ・広域防災システム整備計画 (4.00) ・ノン・プロジェクト無償(2 件)(7.00) ・草の根・人間の安全保障無償(19 件) (1.83)	・貝類養殖技術向上・普及プロジェクト [12.06~15.06]
2013 年度	なし	2.45 億円 ・草の根文化無償(1 件) (0.06) ・草の根・人間の安全保障無償(22 件) (2.40)	
2013 年度 までの累計	448.77 億円	359.72 億円	222.91 億円(220.84 億円) 研修員受入 1,861 人 専門家派遣 661 人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011 年度以降に開始され 2013 年 4 月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の [ ] 内は、協力期間。

表-3 我が国の対エルサルバドル援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦年	有償資金協力	無償資金協力	技術協力	合計
2009年	-18.10	4.07	10.21	-3.82
2010年	-22.18	19.54	11.40	8.75
2011年	-23.57	3.84	11.39	-8.35
2012年	-22.71	3.17	14.94	-4.60
2013年	-18.57	14.16	8.75	4.34
累計	142.27	317.01	201.43	660.74

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力を計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。( )内は、国際機関を通じた贈与の実績(内数)。
2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額(有償資金協力については、エルサルバドル側の返済金額を差し引いた金額)。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表-4 諸外国の対エルサルバドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		うち日本	合計
2008年	スペイン	84.84	米国	53.78	日本	46.76	ドイツ	23.87	ルクセンブルク	11.41	46.76	245.47
2009年	スペイン	127.74	米国	93.50	ドイツ	24.54	日本	17.17	ルクセンブルク	13.48	17.17	300.95
2010年	米国	162.68	スペイン	87.79	日本	31.00	ドイツ	19.77	ルクセンブルク	7.07	31.00	326.26
2011年	米国	182.29	スペイン	46.94	ドイツ	23.43	日本	15.22	ルクセンブルク	7.76	15.22	301.61
2012年	米国	172.20	ドイツ	26.00	スペイン	18.55	日本	18.11	ルクセンブルク	9.80	18.11	264.30

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対エルサルバドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
2008年	EU Institutions	28.42	IDB Sp. Fund	16.30	IFAD	4.90	GFATM	3.15	UNFPA	1.43	2.87	57.07
2009年	EU Institutions	24.86	IDB Sp. Fund	5.28	IFAD	4.51	GEF	3.80	GFATM	2.07	4.29	44.81
2010年	EU Institutions	52.52	GFATM	9.48	IDB Sp. Fund	3.69	IFAD	2.86	UNFPA	1.42	3.63	73.60
2011年	EU Institutions	42.46	GFATM	6.31	IDB Sp. Fund	4.31	IFAD	1.23	UNFPA	1.12	3.05	58.48
2012年	EU Institutions	23.41	GFATM	7.14	IDB Sp. Fund	4.34	GEF	1.98	UNFPA	1.02	2.49	40.38

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 実施済および実施中の開発計画調査型技術協力案件(開発調査案件を含む)(開始年度が2009年度以降のもの)

案 件 名	協力期間
エルサルバドル国再生可能エネルギー国家マスタープラン策定プロジェクト	11. 7~12. 3
経済インフラ復旧支援プロジェクト	12. 3~13. 3

出典) JICA

# エルサルバドル

表-7 2013年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案	件	名
サラゴサ市サラゴサ国立高等学校整備拡充計画		
サン・セバスティアン・サリトリージョ市シウダ・レアル初等学校移転計画		
サン・フランシスコ・メネンデス市エル・コロソ村初等学校整備拡充計画		
サンタ・アナ市セロ・パルティード地区初等学校整備拡充計画		
フトラ市ティウイチャ村初等学校整備拡充計画		
モンカグア市カルロス・アルベルト・ボルゴノボ・ポル初等学校整備拡充計画		
モンテ・サン・フアン市レオン・シグエンサ初等学校整備拡充計画		
オホス・デ・アグア市5地区飲料水供給計画		
サン・フアン・タルパ市コマラパ村飲料水供給計画		
ヌエストラ・セニョーラ・デ・ファティマ・コフテベケ国立病院理学療法科整備拡充計画		
ヌエバ・コンセプション市ラ・ラブランサ地区飲料水供給計画		
アウアチャパン市アルフレド・エスピノ初等学校移転計画		
サンタ・アナ市ピナル・デ・グラナダ地区初等学校整備拡充計画		
センステベケ市パラシオス地区飲料水供給計画		
ソンソナテ市ロマ・デル・ムエルト村サン・ホセ地区初等学校移転計画		
タグバ市ホセ・マルティ初等学校整備拡充計画		
トナカテベケ市レジデンシアル・アルタビスタ地区初等学校整備拡充計画		
コリント市コラリト村診療所移転計画		
サンタ・エレナ市ロス・ホボス地区初等学校整備拡充計画		
ポロロス市オコテ村診療所移転計画		
ウスルタン市セントロ地区交番建設計画		
サンタ・アナ市イブ地区交番建設計画		

# 主なプロジェクト所在図

## メキシコ、中米諸国、パナマ

